

基本計画書

基本計画書									
事項	記入欄							備考	
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更								
フリガナ設置者	コクリツダガクホシケン コウバダガク 国立大学法人 神戸大学								
フリガナ大学の名称	コウバダガクカクイン 神戸大学大学院 (Graduate School of Kobe University)								
大学本部の位置	神戸市灘区六甲台町1番1号								
大学の目的	神戸大学は、開放的で国際性に富む固有の文化の下、「真摯・自由・協同」の精神を発揮し、人類社会に貢献するため、普遍的価値を有する「知」を創造するとともに、人間性豊かな指導的人材を育成する。								
新設学部等の目的	科学技術イノベーション研究科においては、学際領域における先端科学技術の研究開発能力に加えて、知財化、生産技術開発、市場開拓までの学術的研究成果の事業化プロセスをデザインできる、企業家精神（アントレプレナーシップ）を兼ね備えた理系人材、すなわち我が国における革新的イノベーションの創出という産業界からの期待にも応えうる技術と経営を俯瞰できる人材（科学技術アントレプレナー）を養成する。								
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	14条特例の実施
	科学技術イノベーション研究科 [Graduate School of Science, Technology and Innovation]	年	人	年次 人	人		年 月 第 年次	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	
	科学技術イノベーション専攻 [Department of Science, Technology and Innovation]	3	10	-	30	博士（科学技術イノベーション）	平成30年4月 第1年次		
計	-	10	-	30					
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	<p>法学研究科</p> <p>法学政治学専攻(M) (37) [平成29年4月事前伺い提出] 法学政治学専攻(D) (18) [平成29年4月事前伺い提出] 理論法学専攻(M) [廃止] (△25) 理論法学専攻(D) [廃止] (△14) 政治学専攻(M) [廃止] (△12) 政治学専攻(D) [廃止] (△ 6) ※理論法学専攻及び政治学専攻は、平成30年4月学生募集停止</p> <p>経営学研究科</p> <p>経営学専攻(D) [定員減] (△ 2) (平成30年4月)</p> <p>理学研究科</p> <p>生物学専攻(D) [定員減] (△ 1) (平成30年4月) 惑星学専攻(D) [定員減] (△ 1) (平成30年4月)</p> <p>システム情報学研究科</p> <p>計算科学専攻(D) [定員減] (△ 2) (平成30年4月)</p> <p>農学研究科</p> <p>食料共生システム学専攻(D) [定員減] (△ 1) (平成30年4月) 生命機能科学専攻(D) [定員減] (△ 1) (平成30年4月)</p> <p>保健学研究科</p> <p>保健学専攻(M) [定員増] (10) (平成30年4月)</p> <p>医学部</p> <p>保健学科看護学専攻 (第3年次編入学定員) [定員減] (△10) (平成30年4月)</p>								

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	備考		
		講義	演習	実験・実習	計				
	科学技術イノベーション研究科(博士課程後期課程) 科学技術イノベーション専攻	0科目	5科目	0科目	5科目	10単位			
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手	
			人	人	人	人	人	人	
	新設分	科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻 (博士課程後期課程)	20 (20)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	1 (1)
		計	20 (20)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	24 (24)	0 (0)	- (-)
		人文学研究科							
		文化構造専攻 (博士課程前期課程)	16 (16)	10 (10)	2 (2)	0 (0)	28 (28)	0 (0)	3 (3)
		文化構造専攻 (博士課程後期課程)	15 (15)	10 (10)	1 (1)	0 (0)	26 (26)	0 (0)	0 (0)
		社会動態専攻 (博士課程前期課程)	15 (15)	19 (19)	1 (1)	1 (1)	36 (36)	0 (0)	8 (8)
		社会動態専攻 (博士課程後期課程)	16 (16)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	36 (36)	0 (0)	0 (0)
		国際文化学研究科							
		文化関連専攻 (博士課程前期課程)	17 (17)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	30 (30)	0 (0)	2 (2)
		文化関連専攻 (博士課程後期課程)	17 (17)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	0 (0)	0 (0)
		グローバル文化専攻 (博士課程前期課程)	33 (33)	10 (10)	4 (4)	0 (0)	47 (47)	0 (0)	3 (3)
		グローバル文化専攻 (博士課程後期課程)	35 (35)	8 (8)	0 (0)	0 (0)	43 (43)	0 (0)	3 (3)
		人間発達環境学研究科							
		人間発達専攻 (博士課程前期課程)	33 (33)	26 (26)	4 (4)	0 (0)	63 (63)	0 (0)	0 (0)
		人間発達専攻 (博士課程後期課程)	33 (33)	26 (26)	0 (0)	0 (0)	59 (59)	0 (0)	0 (0)
		人間環境学専攻 (博士課程前期課程)	19 (19)	15 (15)	1 (1)	0 (0)	35 (35)	0 (0)	1 (1)
		人間環境学専攻 (博士課程後期課程)	21 (21)	17 (17)	0 (0)	0 (0)	38 (38)	0 (0)	0 (0)
		法学研究科							
		理論法学専攻 (博士課程前期課程)	20 (20)	7 (7)	0 (0)	2 (2)	29 (29)	1 (1)	1 (1)
		理論法学専攻 (博士課程後期課程)	23 (23)	7 (7)	0 (0)	2 (2)	32 (32)	1 (1)	7 (7)
		政治学専攻 (博士課程前期課程)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	11 (11)	0 (0)	0 (0)
		政治学専攻 (博士課程後期課程)	4 (4)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	7 (7)	0 (0)	0 (0)
		実務法律専攻 (専門職学位課程)	25 (25)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	29 (29)	1 (1)	29 (29)
		経済学研究科							
		経済学専攻 (博士課程前期課程)	36 (36)	18 (18)	8 (8)	0 (0)	62 (62)	0 (0)	9 (9)
		経済学専攻 (博士課程後期課程)	36 (36)	18 (18)	8 (8)	0 (0)	62 (62)	0 (0)	0 (0)
		経営学研究科							
	経営学専攻 (博士課程前期課程)	32 (32)	25 (25)	1 (1)	0 (0)	58 (58)	2 (2)	16 (16)	
	経営学専攻 (博士課程後期課程)	41 (41)	26 (26)	0 (0)	0 (0)	67 (67)	2 (2)	0 (0)	
	現代経営学専攻 (専門職学位課程)	17 (17)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	20 (20)	2 (2)	6 (6)	

学 部 等 の 名 称	専任教員等						兼 任 教 員 等	備 考
	教授	准教授	講師	助教	計	助手		
理学研究科								
数学専攻 (博士課程前期課程)	11 (11)	5 (5)	1 (1)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	2 (2)	
数学専攻 (博士課程後期課程)	11 (11)	5 (5)	1 (1)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	0 (0)	
物理学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	11 (11)	1 (1)	2 (2)	23 (23)	0 (0)	0 (0)	
物理学専攻 (博士課程後期課程)	9 (9)	11 (11)	1 (1)	1 (1)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	
化学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	12 (12)	1 (1)	1 (1)	23 (23)	0 (0)	4 (4)	
化学専攻 (博士課程後期課程)	9 (9)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	3 (3)	
生物学専攻 (博士課程前期課程)	14 (14)	12 (12)	1 (1)	5 (5)	32 (32)	0 (0)	7 (7)	
生物学専攻 (博士課程後期課程)	14 (14)	12 (12)	1 (1)	0 (0)	27 (27)	0 (0)	6 (6)	
惑星学専攻 (博士課程前期課程)	14 (14)	7 (7)	2 (2)	4 (4)	27 (27)	0 (0)	5 (5)	
惑星学専攻 (博士課程後期課程)	14 (14)	7 (7)	2 (2)	1 (1)	24 (24)	0 (0)	5 (5)	
医学研究科								
バイオメディカルサイエンス専攻 (修士課程)	22 (22)	11 (11)	11 (11)	22 (22)	66 (66)	2 (2)	2 (2)	
医科学専攻 (博士課程)	70 (70)	42 (42)	25 (25)	88 (88)	225 (225)	2 (2)	53 (53)	
保健学研究科								
保健学専攻 (博士課程前期課程)	24 (24)	19 (19)	4 (4)	23 (23)	70 (70)	0 (0)	9 (9)	
保健学専攻 (博士課程後期課程)	24 (24)	19 (19)	4 (4)	23 (23)	70 (70)	0 (0)	7 (7)	
工学研究科								
建築学専攻 (博士課程前期課程)	12 (12)	14 (14)	0 (0)	9 (9)	35 (35)	0 (0)	1 (1)	
建築学専攻 (博士課程後期課程)	12 (12)	14 (14)	0 (0)	9 (9)	35 (35)	0 (0)	1 (1)	
市民工学専攻 (博士課程前期課程)	12 (12)	7 (7)	0 (0)	3 (3)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	
市民工学専攻 (博士課程後期課程)	12 (12)	7 (7)	0 (0)	3 (3)	22 (22)	0 (0)	0 (0)	
電気電子工学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	10 (10)	0 (0)	8 (8)	27 (27)	1 (1)	1 (1)	
電気電子工学専攻 (博士課程後期課程)	10 (10)	10 (10)	0 (0)	7 (7)	27 (27)	1 (1)	1 (1)	
機械工学専攻 (博士課程前期課程)	13 (13)	14 (14)	0 (0)	8 (8)	35 (35)	1 (1)	3 (3)	
機械工学専攻 (博士課程後期課程)	15 (15)	17 (17)	0 (0)	4 (4)	36 (36)	1 (1)	4 (4)	
応用化学専攻 (博士課程前期課程)	12 (12)	14 (14)	0 (0)	10 (10)	36 (36)	2 (2)	2 (2)	
応用化学専攻 (博士課程後期課程)	16 (16)	21 (21)	0 (0)	8 (8)	45 (45)	2 (2)	6 (6)	
システム情報学研究科								
システム科学専攻 (博士課程前期課程)	8 (8)	6 (6)	1 (1)	3 (3)	18 (18)	0 (0)	2 (2)	
システム科学専攻 (博士課程後期課程)	8 (8)	6 (6)	1 (1)	2 (2)	17 (17)	0 (0)	3 (3)	
情報科学専攻 (博士課程前期課程)	9 (9)	8 (8)	2 (2)	2 (2)	21 (21)	1 (1)	6 (6)	
情報科学専攻 (博士課程後期課程)	9 (9)	8 (8)	1 (1)	0 (0)	18 (18)	1 (1)	3 (3)	
計算科学専攻 (博士課程前期課程)	13 (13)	7 (7)	1 (1)	3 (3)	24 (24)	0 (0)	15 (15)	
計算科学専攻 (博士課程後期課程)	14 (14)	7 (7)	1 (1)	3 (3)	25 (25)	0 (0)	17 (17)	

教員組織の概要

既設分

	学部等の名称	専任教員等					兼任 教員等	備考
		教授	准教授	講師	助教	計		
教員組織の概要	農学研究科							
	食料共生システム学専攻 (博士課程前期課程)	10 (10)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	21 (21)	0 (0)	0 (0)
	食料共生システム学専攻 (博士課程後期課程)	10 (10)	8 (8)	0 (0)	3 (3)	21 (21)	0 (0)	0 (0)
	資源生命科学専攻 (博士課程前期課程)	18 (18)	15 (15)	0 (0)	9 (9)	42 (42)	0 (0)	2 (2)
	資源生命科学専攻 (博士課程後期課程)	18 (18)	15 (15)	0 (0)	6 (6)	39 (39)	0 (0)	0 (0)
	生命機能科学専攻 (博士課程前期課程)	15 (15)	13 (13)	0 (0)	12 (12)	40 (40)	0 (0)	0 (0)
	生命機能科学専攻 (博士課程後期課程)	15 (15)	13 (13)	0 (0)	12 (12)	40 (40)	0 (0)	0 (0)
	海事科学研究科							
	海事科学専攻 (博士課程前期課程)	42 (42)	39 (39)	5 (5)	2 (2)	88 (88)	0 (0)	3 (3)
	海事科学専攻 (博士課程後期課程)	40 (40)	34 (34)	0 (0)	0 (0)	74 (88)	0 (0)	3 (3)
	国際協力研究科							
	国際開発政策専攻 (博士課程前期課程)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	5 (5)
	国際開発政策専攻 (博士課程後期課程)	7 (7)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	4 (4)
	国際協力政策専攻 (博士課程前期課程)	6 (6)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	7 (7)
	国際協力政策専攻 (博士課程後期課程)	6 (6)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	0 (0)	5 (5)
	地域協力政策専攻 (博士課程前期課程)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	3 (3)
	地域協力政策専攻 (博士課程後期課程)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	1 (1)	10 (10)	0 (0)	2 (2)
	科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻 (修士課程)	20 (20)	3 (3)	0 (0)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	5 (5)
	計	662 (662)	445 (445)	78 (78)	225 (225)	1,410 (1,410)	10 (10)	- (-)
	合計	682 (682)	449 (449)	78 (78)	225 (225)	1,434 (1,434)	10 (10)	- (-)
教員以外の職員の概要	職種	専任		兼任		計		
	事務職員	569人 (569)		642人 (642)		1,211人 (1,211)		
	技術職員	158 (158)		260 (260)		418 (418)		
	図書館専門職員	45 (45)		43 (43)		88 (88)		
	その他の職員	1,194 (1,194)		334 (334)		1,528 (1,528)		
	計	1,966 (1,966)		1,279 (1,279)		3,245 (3,245)		
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計		
	校舎敷地	519,783 m ²	— m ²	— m ²		519,783 m ²		
	運動場用地	102,429 m ²	— m ²	— m ²		102,429 m ²		
	小計	622,212 m ²	— m ²	— m ²		622,212 m ²		
	その他	565,279 m ²	— m ²	— m ²		565,279 m ²		
合計	1,187,491 m ²	— m ²	— m ²		1,187,491 m ²			
校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計			
	361,401 m ² (361,401 m ²)	— m ² (— m ²)	— m ² (— m ²)		361,401 m ² (361,401 m ²)			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	188室	209室	482室	22室 (補助職員9人)	13室 (補助職員3人)			

専任教員研究室		新設学部等の名称			室数			備考		
		科学技術イノベーション研究科			24 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	研究科単位で特定不能なため、大学全体の数（機器・器具、標本を除く。）		
	科学技術イノベーション研究科	3,758,181 [1,587,537] (3,758,181 [1,587,537])	45,897 [22,459] (45,897 [22,459])	26,539 [23,107] (26,539 [23,107])	49,382 (49,382)	707 (707)	0 (0)			
	計	3,758,181 [1,587,537] (3,758,181 [1,587,537])	45,897 [22,459] (45,897 [22,459])	26,539 [23,107] (26,539 [23,107])	49,382 (49,382)	707 (707)	0 (0)			
図書館		面積 23,657 m ²		閲覧座席数 1,827 席		収納可能冊数 3,804,078 冊		大学全体		
体育館		面積 6,532 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要						
				テニスコート22面		武道場2面				
				弓道場2面		洋弓場				
				プール(25m)2面		室内プール(25m)				
		ハンドボールコート		馬場						
経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による	
		教員1人当り研究費等	—	—	—	—	—	—		
		共同研究費等	—	—	—	—	—	—		
		図書購入費	—	—	—	—	—	—		
	設備購入費	—	—	—	—	—	—			
	学生1人当り納付金	第1年次 — 千円	第2年次 — 千円	第3年次 — 千円	第4年次 — 千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		—								
大学の名称		神戸大学								
学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
文学部 人文学科		4年	100人	—	445人	学士(文学)	1.06倍	昭和29年度 平成13年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	平成29年度入学定員減(△15人)
国際人間科学部 グローバル文化学科		4年	140人	—	140人	学士(学術)	1.02	平成29年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2番1号	平成29年度設置
発達コミュニケーション学科		4年	100人	5	100人	学士(学術)	1.05	平成29年度		
環境共生学科		4年	80人	3	80人	学士(学術)	1.03	平成29年度		
子ども教育学科		4年	50人	2	50人	学士(学術), 学士(教育学)	1.06	平成29年度		
国際文化学部 国際文化学科		4年	—	—	—	学士(国際文化)	—	平成4年度 平成17年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2番1号	平成29年度より募集停止
発達科学部 人間形成学科		4年	—	—	—	学士(発達科学)	—	平成4年度 平成17年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲3丁目11番	平成29年度より募集停止
人間行動学科		4年	—	—	—	—	—	平成17年度		平成29年度より募集停止
人間表現学科		4年	—	—	—	—	—	平成17年度		平成29年度より募集停止
人間環境学科 学科共通		4年	—	—	10	20	—	平成17年度		平成29年度より募集停止
法学部 法律学科		4年	180人	3年次 20	760人	学士(法学)	1.03	昭和24年度 昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	
経済学部 経済学科		4年	270人	3年次 20	1,120人	学士(経済学)	1.02	昭和24年度 昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	
経営学部 経営学科		4年	260人	3年次 20	1,080人	学士(経営学又は商学)	1.02	昭和24年度 昭和24年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	
理学部 数学科		4年	28人	—	103人	学士(理学)	1.04	昭和29年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	平成27年度より学科名称変更(地球惑星科学科→惑星学科) 平成29年度入学定員増(13人) 数学科(3人) 化学科(5人) 生物学科(5人)
物理学科		4年	35人	—	140人	学士(理学)	1.01	昭和29年度		
化学科		4年	30人	—	105人	学士(理学)	1.08	昭和29年度		
生物学科		4年	25人	—	85人	学士(理学)	1.12	昭和29年度		
惑星学科		4年	35人	—	140人	学士(理学)	1.04	平成5年度		
学科共通				25	50					

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考	
既設大学等の状況	医学部							昭和39年度			
	医学科	6	112	2年次 5	691	学士(医学)	1.00	昭和39年度	兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5番1号		
	保健学科			3年次							
	看護学専攻	4	80	10	340	学士(看護学)	1.02	平成7年度	兵庫県神戸市須磨区友が丘7丁目10番2号		
	検査技術科学専攻	4	40	—	160	学士(保健衛生学)	1.02	平成7年度			
	理学療法学専攻	4	20	—	80	学士(保健学)	1.05	平成7年度			
	作業療法学専攻	4	20	—	80	学士(保健学)	1.00	平成7年度			
	工学部			3年次					昭和24年度		
	建築学科	4	93	—	363	学士(工学)	1.03	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	平成29年度入学定員増(25人) 建築学科(3人) 市民工学科(3人) 電気電子工学科(3人) 機械工学科(3人) 応用化学科(6人) 情報知能工学科(7人)	
	市民工学科	4	63	—	243	学士(工学)	1.04	平成19年度			
	電気電子工学科	4	93	—	363	学士(工学)	1.02	平成4年度			
	機械工学科	4	103	—	403	学士(工学)	1.06	平成4年度			
	応用化学科	4	106	—	406	学士(工学)	1.01	平成4年度			
	情報知能工学科	4	107	—	407	学士(工学)	1.04	平成4年度			
	学科共通			20	40						
	農学部			3年次					昭和41年度		
	食料環境システム学科	4	36	—	141	学士(農学)	1.11	平成20年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	平成29年度入学定員増(10人) 食料環境システム学科(1人) 資源生命科学科(2人) 生命機能科学科(7人)	
	資源生命科学科	4	55	—	214	学士(農学)	1.07	平成20年度			
	生命機能科学科	4	69	—	255	学士(農学)	1.03	平成20年度			
	学科共通			10	20						
	海事科学部			3年次					1.01	平成15年度	
	グローバル輸送科学科	4	80	—	320	学士(海事科学)	各学科への配属は入学1年半後に決定するため学部全体の定員超過率を示している。	平成25年度	兵庫県神戸市東灘区深江南町5丁目1番1号		
	海洋安全システム科学科	4	40	—	160	学士(海事科学)		平成25年度			
マリンエンジニアリング学科	4	80	—	320	学士(海事科学)	平成25年度					
学科共通			10	20		平成25年度					
人文学研究科								平成19年度			
〔博士課程前期課程〕											
文化構造専攻	2	17	—	34	修士(文学)	1.43	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号			
社会動態専攻	2	27	—	54	修士(文学)	1.05	平成19年度				
〔博士課程後期課程〕											
文化構造専攻	3	8	—	24	博士(文学又は学術)	1.03	平成19年度				
社会動態専攻	3	12	—	36	博士(文学又は学術)	1.08	平成19年度				
国際文化学研究科								平成19年度			
〔博士課程前期課程〕											
文化関連専攻	2	18	—	36	修士(学術)	1.24	平成19年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲1丁目2番1号			
グローバル文化専攻	2	29	—	58	修士(学術)	1.03	平成19年度				
〔博士課程後期課程〕											
文化関連専攻	3	6	—	18	博士(学術)	0.94	平成19年度				
グローバル文化専攻	3	9	—	27	博士(学術)	1.11	平成19年度				
人間発達環境学研究科								平成19年度			
〔博士課程前期課程〕											
人間発達専攻	2	51	—	102	修士(学術又は教育学)	0.90	平成25年度	兵庫県神戸市灘区鶴甲3丁目11番			
1年履修コース	1	4	—	4		1.25					
人間環境学専攻	2	36	—	72	修士(学術又は理学)	0.92	平成19年度				
〔博士課程後期課程〕											
人間発達専攻	3	11	—	33	博士(学術又は教育学)	1.09	平成25年度				
人間環境学専攻	3	6	—	18	博士(学術又は理学)	0.88	平成19年度				

既設大学等の状況	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
		法学研究科 〔博士課程前期課程〕 理論法学専攻 政治学専攻 〔博士課程後期課程〕 理論法学専攻 政治学専攻 〔専門職学位課程〕 実務法律専攻							昭和28年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号
		2	25	—	50	修士（法学）	0.84	平成16年度		
		2	12	—	24	修士（政治学）	1.20	平成16年度		
		3	14	—	42	博士（法学）	1.21	平成16年度		
		3	6	—	18	博士（政治学）	0.88	平成16年度		
		3	80	—	240	法務博士（専門職）	0.92	平成16年度		
	経済学研究科 〔博士課程前期課程〕 経済学専攻 〔博士課程後期課程〕 経済学専攻							昭和28年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	平成29年度入学定員減（△2人） ・経済学専攻(D)
		2	83	—	166	修士（経済学）	0.84	平成20年度		
		3	20	—	64	博士（経済学）	0.88	平成20年度		
	経営学研究科 〔博士課程前期課程〕 経営学専攻 〔博士課程後期課程〕 経営学専攻 〔専門職学位課程〕 現代経営学専攻							昭和28年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	
		2	51	—	102	修士（経営学又は商学）	0.85	平成24年度		
		3	34	—	102	博士（経営学又は商学）	0.82	平成24年度		
		2	69	—	138	経営学修士（専門職）	1.01	平成14年度		
	理学研究科 〔博士課程前期課程〕 数学専攻 物理学専攻 化学専攻 生物学専攻 惑星学専攻 〔博士課程後期課程〕 数学専攻 物理学専攻 化学専攻 生物学専攻 惑星学専攻							昭和40年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号	
		2	22	—	44	修士（理学）	0.97	平成19年度		
		2	24	—	48	修士（理学）	1.00	平成19年度		
		2	28	—	56	修士（理学）	1.12	平成19年度		
		2	24	—	48	修士（理学）	0.93	平成19年度		
		2	24	—	48	修士（理学）	0.74	平成27年度		
		3	4	—	12	博士（理学又は学術）	0.91	平成19年度		
		3	5	—	15	博士（理学又は学術）	1.40	平成19年度		
		3	6	—	18	博士（理学又は学術）	0.77	平成19年度		
		3	7	—	21	博士（理学又は学術）	0.52	平成19年度		
		3	7	—	21	博士（理学又は学術）	0.14	平成27年度		
	医学研究科 〔修士課程〕 バイオメディカルサイエンス専攻 〔博士課程〕 医科学専攻							昭和42年度		兵庫県神戸市中央区楠町7丁目5番1号
		2	25	—	50	修士（バイオメディカルサイエンス）	0.80	平成13年度		
		4	100	—	334	博士（医学）	1.21	平成13年度		
	保健学研究科 〔博士課程前期課程〕 保健学専攻 〔博士課程後期課程〕 保健学専攻							平成20年度	兵庫県神戸市須磨区友が丘7丁目10番2号	
		2	54	—	108	修士（保健学）	1.07	平成20年度		
		3	25	—	75	博士（保健学）	1.10	平成20年度		

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考	
既設大学等の状況	工学研究科							昭和39年度			
	〔博士課程前期課程〕										
	建築学専攻	2	64	—	128	修士（工学）	1.12	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号		
	市民工学専攻	2	42	—	84	修士（工学）	1.06	平成19年度			
	電気電子工学専攻	2	64	—	128	修士（工学）	1.08	平成19年度			
	機械工学専攻	2	76	—	152	修士（工学）	1.02	平成19年度			
	応用化学専攻	2	70	—	140	修士（工学）	1.08	平成19年度			
	〔博士課程後期課程〕										
	建築学専攻	3	8	—	24	博士（工学又は学術）	0.66	平成19年度			
	市民工学専攻	3	6	—	18	博士（工学又は学術）	0.83	平成19年度			
	電気電子工学専攻	3	8	—	24	博士（工学又は学術）	0.70	平成19年度			
	機械工学専攻	3	10	—	30	博士（工学又は学術）	0.50	平成19年度			
	応用化学専攻	3	10	—	30	博士（工学又は学術）	1.03	平成19年度			
	システム情報学研究科								平成22年度		
	〔博士課程前期課程〕										
	システム科学専攻	2	28	—	56	修士（システム情報学又は工学）	1.03	平成22年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号		
	情報科学専攻	2	21	—	42	修士（システム情報学又は工学）	1.06	平成22年度			
	計算科学専攻	2	24	—	48	修士（システム情報学又は工学）	0.99	平成22年度			
	〔博士課程後期課程〕										
	システム科学専攻	3	3	—	9	博士（システム情報学、工学又は学術）	0.66	平成22年度			
	情報科学専攻	3	3	—	9	博士（システム情報学、工学又は学術）	1.88	平成22年度			
	計算科学専攻	3	8	—	24	博士（システム情報学、工学、計算科学又は学術）	0.53	平成22年度			
	農学研究科								昭和47年度		
	〔博士課程前期課程〕										
	食料共生システム学専攻	2	26	—	52	修士（農学）	1.03	平成19年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町1番1号		
	資源生命科学専攻	2	42	—	84	修士（農学）	1.01	平成19年度			
	生命機能科学専攻	2	52	—	104	修士（農学）	1.08	平成19年度			
	〔博士課程後期課程〕										
	食料共生システム学専攻	3	6	—	18	博士（農学又は学術）	0.83	平成19年度			
	資源生命科学専攻	3	8	—	24	博士（農学又は学術）	0.58	平成19年度			
	生命機能科学専攻	3	11	—	33	博士（農学又は学術）	0.75	平成19年度			
海事科学研究科								平成19年度			
〔博士課程前期課程〕											
海事科学専攻	2	75	—	135	修士（海事科学）	0.98	平成19年度	兵庫県神戸市東灘区深江南町5丁目1番1号	平成29年度入学定員増(15人) ・海事科学専攻(M)		
〔博士課程後期課程〕											
海事科学専攻	3	11	—	33	博士（海事科学、工学又は学術）	0.75	平成19年度				

	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	備考
既設大学等の状況	国際協力研究科 〔博士課程前期課程〕 国際開発政策専攻	2	26	—	52	修士（国際学又は経済学）	0.69	平成4年度	兵庫県神戸市灘区六甲台町2番1号	平成29年度入学定員減（△2人） ・国際開発政策専攻（D）（△1人） ・地域協力政策専攻（D）（△1人）
	国際協力政策専攻	2	22	—	44	修士（国際学、法学又は政治学）	0.95	平成5年度		
	地域協力政策専攻	2	22	—	44	修士（国際学、法学又は経済学）	0.90	平成6年度		
	〔博士課程後期課程〕 国際開発政策専攻	3	8	—	26	博士（学術又は経済学）	0.59	平成7年度		
	国際協力政策専攻	3	7	—	21	博士（学術、法学又は政治学）	0.61	平成7年度		
	地域協力政策専攻	3	8	—	26	博士（学術、法学又は経済学）	0.91	平成8年度		
	科学技術イノベーション研究科 〔修士課程〕 科学技術イノベーション専攻	2	40	—	80	修士（科学技術イノベーション）	1.03	平成28年度		
附属施設の概要	<p>（機構）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大学教育推進機構 所在地：神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 設置年月：平成17年7月 規模等：14,344㎡ 目的：大学教育の推進を図ることを目的とする。 ○国際連携推進機構 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成15年2月 規模等：1,872㎡ 目的：本学の教育研究活動における国際連携の推進に資することを目的とする。 ○学術研究推進機構 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成14年1月 規模等：2,016㎡ 目的：本学における基盤的な学術研究の創造的発展への寄与を目指し、世界最高水準の教育研究拠点の形成を図るとともに、先端研究における卓越した成果の創出を目指した研究及び開発の推進並びに産学官民連携等を通じた研究開発成果の活用の推進に資することを目的とする。 <p>（先端融合研究推進組織）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○先端融合研究環 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成19年4月（平成28年4月 自然科学系先端融合研究環を改組） 規模等：43,569㎡ 目的：既存の専門分野の枠にとらわれず、一体的かつ戦略的に先端融合研究を推進し、新たな学術領域を開拓するとともに、その研究成果を学内の教育に還元すること及び学外の機関、団体等との連携の下に社会貢献に寄与することを目的とする。 <p>（附置研究所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済経営研究所 所在地：神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：昭和24年5月 規模等：4,989㎡ 目的：経済及び経営に関する総合研究を行うことを目的とする。 <p>（附属図書館）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○附属図書館 所在地：神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：昭和24年5月 規模等：20,047㎡ 目的：教育研究及び学習活動上必要な図書、雑誌、電子資料その他の学術情報資料を収集、整理し、本学の教職員及び学生並びに一般の利用に供するとともに、学術情報利用の円滑化に必要な活動を行うことによって、広く学術の発展に寄与することを目的とする。 									

<p>附属施設の概要</p>	<p>(医学部附属病院等)</p> <p>○医学部附属病院 所在地：神戸市中央区楠町7丁目5-2 設置年月：昭和42年6月 規模等：102,149㎡ 目的：患者の診療を通じて医学の教育と研究を行う施設とする。</p> <p>○医学部附属国際がん医療・研究センター 所在地：神戸市中央区港島南町1丁目5-1 設置年月：平成29年4月1日 規模等：13,258㎡ 目的：がんに関する診療・研究・教育の国際的拠点となることを目的とする。</p> <p>(附属学校)</p> <p>○附属幼稚園 所在地：明石市山下町3-4 設置年月：明治37年10月 規模等：1,236㎡ 目的：幼稚園教育を行うとともに、本学の各部局との連携によって、教育理論とその実践に関する研究並びに実証及び本学学生の教育実習を行うことを目的とする。</p> <p>○附属小学校 所在地：明石市山下町3-4 設置年月：平成21年4月 規模等：4,324㎡ 目的：初等普通教育を行うとともに、本学の各部局との連携によって、教育理論とその実践に関する研究並びに実証及び本学学生の教育実習を行うことを目的とする。</p> <p>○附属中等教育学校 所在地：神戸市東灘区住吉山手5丁目11-1 設置年月：平成21年4月 規模等：11,843㎡ 目的：中等教育を行うとともに、本学の各部局との連携によって、教育理論とその実践に関する研究並びに実証及び本学学生の教育実習を行うことを目的とする。</p> <p>○附属特別支援学校 所在地：明石市大久保町大窪2752-4 設置年月：昭和44年4月 規模等：3,642㎡ 目的：知的な障害を持つ児童、生徒の教育を行うとともに、本学の各部局との連携によって、教育理論とその実践に関する研究並びに実証及び本学学生の教育実習を行うことを目的とする。</p> <p>(基幹研究推進組織)</p> <p>○バイオシグナル総合研究センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成2年6月（平成28年4月 遺伝子実験センターと統合） 規模等：4,278㎡ 目的：バイオシグナルに関する基礎的研究を行い、もって生命科学の教育研究の進展に資することを目的とする。</p> <p>○内海城環境教育研究センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成15年10月 規模等：1,183㎡ 目的：内海城における自然環境及び環境保全に関する教育、研究並びに諸機関との内海城環境に関する共同研究を行うことを目的とする。</p> <p>○都市安全研究センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成8年5月 規模等：722㎡ 目的：安全かつ快適な都市の理念を構築し、それを実現するための手法、システムについて総合的に教育及び研究を行い、もって活力ある都市の創出に寄与することを目的とする。</p> <p>○分子フォトサイエンス研究センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成13年4月 規模等：901㎡ 目的：光と分子の相互作用についての基礎的研究を行い、もって光科学の教育研究の進展に資することを目的とする。</p> <p>○海洋底探査センター 所在地：神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 設置年月：平成27年10月 規模等：277㎡ 目的：船舶や各種先端装置を利用した海洋底の構造探査技術及び鉱床評価に関する教育、研究並びに諸機関との海洋底探査や資源開発に関連する共同研究を行い、もって海洋底に関連する科学技術分野の教育研究の進展に資することを目的とする。</p>	
----------------	--	--

<p>附属施設の概要</p>	<p>○社会システムイノベーションセンター 所在地：神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：平成28年4月 規模等：23㎡ 目的：社会問題の解決を目指した社会システムイノベーションの創出と社会実装を推進する文理融合研究を行うことを目的とする。</p> <p>(研究科等の附属施設)</p> <p>○人間発達環境学研究科附属発達支援インスティテュート 所在地：神戸市灘区鶴甲3丁目11 設置年月：平成17年4月 規模等：412㎡ 目的：人間発達に関する教育研究，実践的活動を行うとともに，地域との連携を進め，多層・多層的なコミュニティの創成及び社会貢献に資することを目的とする。</p> <p>○医学研究科附属動物実験施設 所在地：神戸市中央区楠町7丁目5-1 設置年月：昭和48年4月 規模等：4,546㎡ 目的：科学的かつ動物福祉に配慮した動物実験を実施するため，整備された環境の下，実験動物を集中管理するとともに，実験動物及び動物実験に関する医学教育・研究を実施することを目的とする。</p> <p>○医学研究科附属感染症センター 所在地：神戸市中央区楠町7丁目5-1 設置年月：昭和54年4月 規模等：165㎡ 目的：アジア諸国を始め諸外国との国際共同研究を通じて，感染症に係わる疫学調査研究，病態解析研究及び診断・治療・予防法の開発研究並びに臨床教育研究を総合的に推進することを目的とする。</p> <p>○農学研究科附属食資源教育研究センター 所在地：加西市鶉野町1348 設置年月：昭和42年6月 規模等：6,039㎡ 目的：農学部，農学研究科及び学内外の研究機関等と連携して，動植物資源開発から生産までに関わる実学の教育研究及び実習を行う。特に，循環型社会の実現，多様な生物資源の持続的利用に関する教育研究を行い，もってアグロバイオサイエンス（農生命環境科学）の進展並びに地域及び国際社会等に寄与することを目的とする。</p> <p>○海事科学研究科附属国際海事研究センター 所在地：神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 設置年月：平成15年10月 規模等：845㎡ 目的：海事に関する総合的かつ先端的な研究を行うとともに，積極的な情報発信により，国内外の海事社会の発展に寄与することを目的とする。</p> <p>○海事科学研究科附属練習船深江丸 所在地：神戸市東灘区深江南町5丁目1-1 設置年月：平成15年10月 規模等：449トン（総トン数） 目的：海事科学研究科の教育に必要な船舶による実験及び実習並びに学術研究を行うことを目的とする。</p> <p>○経済経営研究所附属企業資料総合センター 所在地：神戸市灘区六甲台町2-1 設置年月：昭和39年4月 規模等：661㎡ 目的：企業及び産業に関する文献，資料，データ等を総合的に収集，整備し，これを公開利用に供するとともに，経済経営研究への活用を図ることを目的とする。</p> <p>(学内共同基盤組織)</p> <p>○情報基盤センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成22年7月 規模等：2,319㎡ 目的：本学におけるICTの活用を推進するため，高度で先端的な情報基盤の整備・提供及び研究開発を行うことを目的とする。</p> <p>○研究基盤センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成16年4月 規模等：4,594㎡ 目的：本学における自然科学全般の学際的な教育研究の支援体制を充実させるとともに，幅広い基礎研究基盤の充実及び先端的な応用研究への進展に資することを目的とする。</p> <p>○環境保全推進センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成16年4月（平成26年4月 環境管理センターを改組） 規模等：274㎡ 目的：本学における環境保全活動を推進するとともに，持続可能な社会の創造に貢献するために必要な施策を企画・立案し，及び実施することを目的とする。</p>	
----------------	--	--

<p>附属施設の概要</p>	<p>○計算科学教育センター 所在地：神戸市中央区港島南町7丁目1-48 設置年月：平成26年4月 規模等：563㎡ 目的：本学における計算科学分野を通じた学際的な教育研究の支援を充実させるとともに、計算科学技術を有する人材を育成することを目的とする。</p> <p>○保健管理センター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：昭和45年4月 規模等：710㎡ 目的：健康管理に関する専門的業務を行い、本学における学生及び職員の健康の保持、増進を図ることを目的とする。</p> <p>○キャリアセンター 所在地：神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 設置年月：平成19年6月 規模等：130㎡ 目的：学内外の関係機関等と連携し、本学の学生及び卒業生のキャリア形成、就職活動及びボランティア・社会貢献活動の支援を行い、本学の人材育成力の向上に資することを目的とする。</p> <p>○キャンパスライフ支援センター 所在地：神戸市灘区鶴甲1丁目2-1 設置年月：平成27年12月 規模等：12㎡ 目的：学内外の関係機関等と連携し、全学的立場から、本学における障がいのある学生の就学等支援の推進及び協働体制の構築を図り、合理的配慮に基づく就学機会を提供することを目的とする。</p> <p>○アドミッションセンター 所在地：神戸市灘区六甲台町1-1 設置年月：平成28年4月 規模等：42㎡ 目的：本学における入学者選抜方法の改善及び入学者選抜の円滑な実施に資することを目的とする。</p>	
----------------	---	--

国立大学法人神戸大学 設置計画等に関わる組織の移行表

平成29年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	平成30年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
神戸大学				神戸大学				
文学部	100		400	文学部	100		400	
		3年次				3年次		
国際人間科学部	370	10	1,500	国際人間科学部	370	10	1,500	
		3年次				3年次		
法学部	180	20	760	法学部	180	20	760	
		3年次				3年次		
経済学部	270	20	1,120	経済学部	270	20	1,120	
		3年次				3年次		
経営学部	260	20	1,080	経営学部	260	20	1,080	
		3年次				3年次		
理学部	153	25	662	理学部	153	25	662	
医学部				医学部				
		2年次				2年次		
医学科	112	5	697	医学科	112	5	697	
		3年次				3年次		
保健学科	160	10	660	保健学科	160	0	640	第3年次編入学定員変更(△10)
		3年次				3年次		
工学部	565	20	2,300	工学部	565	20	2,300	
		3年次				3年次		
農学部	160	10	660	農学部	160	10	660	
		3年次				3年次		
海事科学部	200	10	820	海事科学部	200	10	820	
		2年次				2年次		
		5				5		
計	2,530	145	10,659	計	2,530	135	10,639	
		3年次				3年次		
神戸大学大学院				神戸大学大学院				
人文学研究科(M)	44	-	88	人文学研究科(M)	44	-	88	
(D)	20	-	60	(D)	20	-	60	
国際文化学研究科(M)	47	-	94	国際文化学研究科(M)	47	-	94	
(D)	15	-	45	(D)	15	-	45	
人間発達環境学研究科(M)	91	-	178	人間発達環境学研究科(M)	91	-	178	
(1年履修コースを含む)				(1年履修コースを含む)				
(D)	17	-	51	(D)	17	-	51	
法学研究科				法学研究科				
				法学政治学専攻(M)	37	-	74	専攻設置(事前伺い)
				法学政治学専攻(D)	18	-	54	定員変更(△2)
					0	-	0	平成30年4月学生募集停止
					0	-	0	平成30年4月学生募集停止
					0	-	0	平成30年4月学生募集停止
					0	-	0	平成30年4月学生募集停止
				実務法律専攻(P)	80	-	240	
経済学研究科(M)	83	-	166	経済学研究科(M)	83	-	166	
(D)	20	-	60	(D)	20	-	60	
経営学研究科				経営学研究科				
				経営学専攻(M)	51	-	102	
				経営学専攻(D)	32	-	96	定員変更(△2)
				現代経営学専攻(P)	69	-	138	
理学研究科				理学研究科				
				数学専攻(M)	22	-	44	
				数学専攻(D)	4	-	12	
				物理学専攻(M)	24	-	48	
				物理学専攻(D)	5	-	15	
				化学専攻(M)	28	-	56	
				化学専攻(D)	6	-	18	
				生物学専攻(M)	24	-	48	
				生物学専攻(D)	7	-	21	定員変更(△1)
				惑星学専攻(M)	24	-	48	
				惑星学専攻(D)	7	-	21	定員変更(△1)
医学研究科(M)	25	-	50	医学研究科(M)	25	-	50	
(D)	100	-	400	(D)	100	-	400	
保健学研究科(M)	54	-	108	保健学研究科(M)	64	-	128	定員変更(10)
(D)	25	-	75	(D)	25	-	75	
工学研究科(M)	316	-	632	工学研究科(M)	316	-	632	
(D)	42	-	126	(D)	42	-	126	

平成29年度

	入学 定員	編入学 定員	収容 定員
システム情報学研究科			
システム科学専攻(M)	28	-	56
(D)	3	-	9
情報科学専攻(M)	21	-	42
(D)	3	-	9
計算科学専攻(M)	24	-	48
(D)	8	-	24
農学研究科			
食料共生システム学専攻(M)	26	-	52
(D)	6	-	18
資源生命科学専攻(M)	42	-	84
(D)	8	-	24
生命機能科学専攻(M)	52	-	104
(D)	11	-	33
海事科学研究科(M)	75	-	150
(D)	11	-	33
国際協力研究科(M)	70	-	140
(D)	23	-	69
科学技術イノベーション研究科			
科学技術イノベーション専攻(M)	40		80
計	1,792		4,155

平成30年度

	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
システム情報学研究科				
システム科学専攻(M)	28	-	56	
(D)	3	-	9	
情報科学専攻(M)	21	-	42	
(D)	3	-	9	
計算科学専攻(M)	24	-	48	
(D)	<u>6</u>	-	<u>18</u>	定員変更(Δ2)
農学研究科				
食料共生システム学専攻(M)	26	-	52	
(D)	<u>5</u>	-	<u>15</u>	定員変更(Δ1)
資源生命科学専攻(M)	42	-	84	
(D)	8	-	24	
生命機能科学専攻(M)	52	-	104	
(D)	<u>10</u>	-	<u>30</u>	定員変更(Δ1)
海事科学研究科(M)	75	-	150	
(D)	11	-	33	
国際協力研究科(M)	70	-	140	
(D)	23	-	69	
科学技術イノベーション研究科				
科学技術イノベーション専攻(M)	40		80	
科学技術イノベーション専攻(D)	<u>10</u>		<u>30</u>	課程変更(意見伺い)
計	1,802		4,175	

教 育 課 程 等 の 概 要																	
科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻																	
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
先端研究開発科目	先端科学技術特定研究	1通	2					○			15	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—					15	3	0	0	0	兼0	—
科学技術イノベーション科目	科学技術イノベーション研究1	1前	1					○			18	4					共同
	科学技術イノベーション研究2	2前	1					○			19	4				兼1	共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—					19	4	0	0	0	兼1	—
シト科学技術イノベーション	科学技術アントレプレナーシップ演習	1後	1					○			5	1					共同
	科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究	1後～3通	5					○			19	4					
	小計(2科目)	—	6	0	0	—					20	4	0	0	0	兼0	—
(合計 5 科目)		—	10	0	0	—					20	4	0	0	0	兼1	—
学位又は称号	博士（科学技術イノベーション）		学位又は学科の分野			学際領域											
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
3年以上在学し、研究科が定める授業科目のうちから10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。								1 学年の学期区分			2 学期						
								1 学期の授業期間			1 5 週						
								1 時限の授業時間			9 0 分						

教 育 課 程 等 の 概 要																	
科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻																	
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
先端研究開発科目	先端科学技術特定研究	1通	2					○			11	3					
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			11	3	0	0	0	兼0	—		
科学技術イノベーション科目	科学技術イノベーション研究1	1前	1					○			18	4					共同
	科学技術イノベーション研究2	2前	1					○			19	4				兼1	共同
	小計(2科目)	—	2	0	0	—			19	4	0	0	0	兼1	—		
シト科学技術イノベーション科目	科学技術アントレプレナーシップ演習	1後	1					○			5	1					共同
	科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究	1後～3通	5					○			15	4					
	小計(2科目)	—	6	0	0	—			16	4	0	0	0	兼0	—		
(合計 5 科目)		—	10	0	0	—			20	4	0	0	0	兼1	—		
学位又は称号	博士（科学技術イノベーション）		学位又は学科の分野			学際領域											
卒業要件及び履修方法								授業期間等									
3年以上在学し、研究科が定める授業科目のうちから10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。								1 学年の学期区分			2 学期						
								1 学期の授業期間			1 5 週						
								1 時限の授業時間			9 0 分						

教 育 課 程 等 の 概 要														
科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
先端研究開発科目	先端科学技術特定研究	1通	2					○		4	0			
	小計(1科目)	—	2	0	0	—			4	0	0	0	0	兼0 —
シト科 ツレ学 ブブ技 科レ術 目レナ アン	科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究	1後～3通	5					○		4	0			
	小計(1科目)	—	5	0	0	—			4	0	0	0	0	兼0 —
(合計 2 科目)		—	7	0	0	—			4	0	0	0	0	兼0 —
学位又は称号	博士（科学技術イノベーション）		学位又は学科の分野			学際領域								
卒業要件及び履修方法							授業期間等							
3年以上在学し、研究科が定める授業科目のうちから10単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、後期課程に2年以上在学すれば足りるものとする。							1 学年の学期区分			2 学期				
							1 学期の授業期間			1 5 週				
							1 時限の授業時間			9 0 分				

授 業 科 目 の 概 要			
(科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
先端研究開発科目	先端科学技術特定研究	<p>授業の概要：先端研究開発科目の導入部分において、科学技術ブレークスルーに向けた研究活動を展開する研究者の心構えとして研究倫理について指導する。さらに、一般財団法人公正研究推進協会によるCITI Japan eラーニングプログラムを受講することとし、CITI Japan eラーニングプログラムの修了証の提出を義務付ける。</p> <p>学生は入学時に志望する先端科学技術分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT及び先端医療学）の選択を行い、各分野の教員が解決すべき技術上の問題に関する基本的な知識の提供を行う。学生はこれに基づいた特定研究の課題設定を指導教員と共に行う。この時、複数の分野の科学技術の融合によって産まれるブレークスルーを見据え、異なる先端科学技術分野の複数の副指導教員を学生が自ら選択することを可能とし、分野横断的な教育を進める。学生は自らが中心となって、指導教員と議論しながら課題解決に向けて研究計画を策定し、ブレークスルーの達成に向けた研究開発を行う。研究成果については、専門誌への学術論文発表や学会での発表を行うことを義務付ける。</p> <p>具体的には、以下のような内容を取り扱う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 合成生物学：有用物質を高生産する微生物細胞工場の構築とその産業応用（① 近藤昭彦、⑧ 内田和久、⑭ 李 仁義） ゲノム機能制御科学：微生物におけるゲノム機能解明と物質生産への応用（② 吉田健一） 代謝解析学：代謝物や遺伝子発現の網羅的解析と物質生産への応用（④ 蓮沼誠久） ゲノム改変：ゲノム編集技術や進化学等の開発および応用（⑤ 西田敬二） 代謝デザイン制御工学：代謝や遺伝子発現の制御デザインと物質生産への応用（⑩ 石井純） 分化システム機能科学：微生物における細胞分化システムの解明と物質生産への応用（⑭ 石川 周） 液相系及び気相系の分離膜の設計・作製・解析に関する基礎研究、及び分離膜を用いた分離プロセス構築のための方法論とその実践に関する応用研究（③ 吉岡朋久、⑮ 中川敬三、⑲ 新谷卓司） 先端情報システム：ハードウェアのセキュリティとセーフティを確保する集積化情報システムの設計技術（⑥ 永田 真） 先端情報通信工学：IoTを支える通信プロトコルの設計・開発・評価（⑦ 太田 能） 先端アーキテクチャ：組み込みシステムの大規模化・高速化・高信頼化・低消費電力化技術（⑧ 川口 博） 再生医療・幹細胞生物学に関する先端技術の世界的動向の把握と、同分野の研究開発のための基本的手法の習得および先端開発研究の実践（⑪ 青井貴之） ワクチン及び遺伝子治療製剤開発の技術や動向に関する情報収集と研究開発、特に経口ワクチンを用いる新規治療開発の実践（⑯ 白川利朗） 分子標的薬開発研究に関する技術及び開発戦略の世界的動向の把握と基本的手法の習得。特定の標的分子に対する創薬研究の実践（⑨ 島 扶美） 治療標的分子に関するin silicoシミュレーションを用いた医薬品デザインと合成化学の最先端技術を基盤とする創薬研究の実践（⑳ 森 一郎） 	
科学技術イノベーション科目	科学技術イノベーション研究1	<p>授業の概要：科学技術ブレークスルーとイノベーションの定義やその関係性等の基礎的知識を学び、自らの専門分野において、過去から現在にかけてどのような科学技術ブレークスルーとイノベーションが起こってきたかを詳細に調査・整理し、併せて現状の科学技術開発の動向や近い将来の科学技術ブレークスルーの可能性等を技術マップとしてまとめる。</p> <p>ここでいう科学技術ブレークスルーとは、科学技術上の発見や発明を梃子にして、従来であれば克服が不可能と思われていたような課題を乗り越えることである。発見（discover）とは、既に世の中に存在しているが、まだ誰にも気づかれていないものを見つけ出すことであり、発明（invent）とは、世の中に存在していないものを、初めて創り出すことを意味する。</p> <p>科学技術ブレークスルーが起こっても、それだけでは科学技術イノベーションとはならない。科学技術イノベーションとは、科学技術ブレークスルーを梃子にして、現実に経済的・社会的価値につながる製品やサービスを生み出すことをいう。</p> <p>演習は、下記の8コマで構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 科学技術ブレークスルーとイノベーションの基礎的知識と事例についての講義 2コマ <ol style="list-style-type: none"> 1コマ目：科学技術ブレークスルーとイノベーションの定義やそれらの関係性等の基礎的知識について、座学形式の講義を行う。 ⑬ 忽那憲治、⑫ 山本一彦、⑭ 幸田 徹、⑯ 岩堀敏之 2コマ目：理系領域の各専門分野に別れて、各専門分野に関係の深い学術領域の教員より当該分野における過去から現在にかけての科学技術ブレークスルーとイノベーションの経緯の概略について座学形式の講義を行う。 ⑬ 忽那憲治、⑫ 山本一彦、⑭ 幸田 徹、⑯ 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 過去から現在にかけての科学技術ブレークスルーとイノベーションの事例分析と発表 2コマ ⑬ 忽那憲治、⑫ 山本一彦、⑭ 幸田 徹、⑯ 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 近い将来の科学技術ブレークスルーの可能性をまとめた技術マップの作成と発表① 2コマ ⑬ 忽那憲治、⑫ 山本一彦、⑭ 幸田 徹、⑯ 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 近い将来の科学技術ブレークスルーの可能性をまとめた技術マップの作成と発表② 2コマ ⑬ 忽那憲治、⑫ 山本一彦、⑭ 幸田 徹、⑯ 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 	共同

授 業 科 目 の 概 要			
(科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
科学技術イノベーション科目	科学技術イノベーション研究2	<p>授業の概要：「科学技術イノベーション研究1」で自らがまとめた歴史的経緯と技術マップに基づき、自らの専門分野において将来どのような科学技術ブレークスルーがイノベーションにつながる可能性があり得るのか、あるいはどのような科学技術ブレークスルーがイノベーションの実現のために求められているのかを、システム思考やデザイン思考を活用しながら深く考察する。その考察を踏まえ、自らの先端研究プロジェクトで生まれつつある科学技術ブレークスルーを活かすことができ、かつ、経済的・社会的価値を生む製品やサービスにつながる、イノベーション・アイデアとしてまとめる。</p> <p>演習は、下記の8コマで構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム思考についての演習 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之、25 富田欣和 ・デザイン思考についての演習 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之、25 富田欣和 ・システム思考とデザイン思考を活用したイノベーション・アイデアの検討 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 ・システム思考とデザイン思考を活用したイノベーション・アイデアの発表 2コマ 14 忽那憲治、12 尾崎弘之、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 <p><システム思考とデザイン思考></p> <p>システム思考は、解決したい課題を生んでいる環境を1つのシステムと捉えて、システムを構成する要素と個別要素間のつながりや相互作用の関係等を明らかにすることを通じて、課題を生み出している真の原因を分析しようとする工学的なアプローチである。</p> <p>デザイン思考は、人間の感性（たとえば、何に悩んでいるのか、何をすれば喜びを感じるのか等）に着目し、課題解決につながるアイデアを得ようとするアプローチである。ここでは、観察、ブレインストーミング等を通じた柔軟な発想に基づく課題解決手段（仮説）の設計と、プロトタイピングを通じた仮説の検証等を重視する。</p> <p>システム思考とデザイン思考は、科学技術ブレークスルーに基づき、イノベーション・アイデアをまとめるために有用な思考法の1つである。</p>	共同
科学技術アントレプレナーシップ科目	科学技術アントレプレナーシップ演習	<p>授業の概要：科学技術アントレプレナーシップ関連の上級知識や分析ツールを、学生の研究テーマに関連したベンチマーク企業の多面的かつ徹底的な戦略分析を通じて修得する。具体的には、博士課程後期課程の学生のレベルに合わせて、イノベーション・アイデアを具体的なイノベーションとして実現するために必要とされる知財戦略、事業戦略、財務戦略の上位レベルの教育を行うことによって、実践レベルでのイノベーション・ストラテジー研究成果書を作成できる能力養成の指導を行う。演習は、下記の8コマで構成するが、はじめに学生各自がベンチマークの対象として、公開情報を入手しやすい国内外の上場企業を1, 2社選定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財戦略の検討と発表 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、15 島並 良、23 幸田 徹、24 岩堀敏之 特許情報データベースやIR情報（たとえば投資家向説明会資料、中長期経営計画等）等の公開情報から、ベンチマーク企業の特許情報や研究開発戦略に関する情報を収集する。収集した情報を分析し、技術的な強み弱みの分析、特定分野における技術動向の分析、戦略的に注力している研究開発テーマや研究開発の方向性、共同研究相手、さらには技術提携やアライアンスの状況などを徹底的に検討し、発表する。 ・事業戦略の検討と発表 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之 IR情報（たとえば投資家向説明会資料、中長期経営計画、アニュアルレポート、等）やアナリストレポート、新聞・雑誌記事等の公開情報から、ベンチマーク企業の事業戦略に関する情報を収集する。収集した情報を分析し、競争戦略の観点、リソースベースビューの観点、破壊的イノベーション理論の観点等から、当該企業の事業戦略を検討し、発表する。 ・財務戦略の検討と発表 2コマ 14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之 IR情報（たとえば投資家向説明会資料、中長期経営計画、アニュアルレポート、有価証券報告書、決算短信等）やアナリストレポート、新聞・雑誌記事等の公開情報から、ベンチマーク企業の財務戦略に関する情報を収集する。収集した情報から企業価値評価やM&A戦略等の検討を行い、発表する。 ・知財戦略、事業戦略、財務戦略をまとめた総合戦略の検討と発表 2コマ 14 忽那憲治、12 尾崎弘之、13 山本一彦、15 島並 良、23 幸田 徹、24 岩堀敏之 	共同

授 業 科 目 の 概 要			
(科学技術イノベーション研究科 科学技術イノベーション専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
科学技術アントレプレナーシップ科目	科学技術イノベーション戦略プロジェクト研究	<p>授業の概要：イノベーション・ストラテジーの構築に必要な研究開発能力と戦略構築能力の育成を文理融合の複数の教員が一体となって行う。まず学生が探求する先端科学技術分野（バイオプロダクション、先端膜工学、先端IT及び先端医療学）におけるイノベーション・アイデアを製品やサービスにつなげる研究開発能力を育成する教育を提供する。さらに、科学技術アントレプレナーシップの知識を修得して、事業化によるイノベーションの実現のために必要となる「技術戦略」、「知財戦略」、「事業戦略」及び「財務戦略」の4つの戦略に関するモジュール（学習領域）の提供により、高度で汎用的な知識の修得と実践に向けた教育を行う。4つの戦略の中での分析の重点の置き方は個々の学生で異なるものの、ゼミ形式で進める授業において、他の学生の分析発表を聞いて討議に積極的に参加することを促す。その中で、4つの戦略全般について幅広く学びを深め、自身のアイデアの事業化とは関わりが弱い領域に関しても汎用的知識と実践能力を修得する。</p> <p>こうした研究開発の推進とモジュールの学習を通じて、イノベーション・ストラテジーの構築を行う能力を養成することで、博士課程後期課程の修了後に自身が取り組む次の研究開発や事業化などに自身の経験を連続的に生かすことが可能となる。</p> <p>[イノベーションアイデアを実現する技術開発] 各理系教員科学技術ブレークスルー活かすことができ、かつ、経済的・社会的価値を生む製品やサービスにつなげるのに必要となる研究開発プロジェクトを推進する。</p> <p>[各種戦略モジュール] 文理融合の複数教員の共同指導体制のもとで、自らが目指すイノベーション・アイデアの実現に不可欠な各種戦略（イノベーション・ストラテジー）について、「技術戦略」、「知財戦略」、「事業戦略」、「財務戦略」からなる4つの学習モジュール（下記参照）を学生自らが選択しながら分析を深め、イノベーション・ストラテジーの構築に関する高度な知識の修得と、実践への応用力を醸成する。</p> <p><技術戦略モジュール>14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 科学技術ブレークスルーに基づいて、現実に経済的・社会的価値を生む製品やサービスを創出するために不可欠な応用技術開発の方向性や、補完技術の開発あるいは獲得の方針等について、将来的な技術動向を踏まえて具体的に検討する。</p> <p><知財戦略モジュール>14 忽那憲治、13 山本一彦、15 島並 良、23 幸田 徹、24 岩堀敏之及び各学生が取り組む科学技術分野を専門とする理系教員 科学技術ブレークスルーからイノベーションの実現の過程で生じる知的財産の保護や、知的財産権の有効利用等に関する基本方針を、自らが選択した他のモジュールで検討する技術戦略や事業戦略、財務戦略等との整合性をとりながら具体的に検討する。</p> <p><事業戦略モジュール>14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24 岩堀敏之、20 内田和久、19 李 仁義、21 新谷卓司、22 森 一郎 競争戦略、リソース・ベース・ビュー、破壊的イノベーションなどの戦略理論を総合的に活用して、イノベーション・アイデアを現実のものとする製品やサービスを活かしたビジネスモデルを、製品やサービスが生み出す価値、稀少性、模倣困難性等を明確にしながら具体的にまとめる。</p> <p><財務戦略モジュール>14 忽那憲治、13 山本一彦、23 幸田 徹、24岩堀敏之 ビジネスモデルを財務モデルに落とし込み、予測ベースの財務3表（損益計算書、貸借対照表、キャッシュフロー計算書）を作成する。財務モデルを使って、財務上のリスクがどこに存在するかを分析する。リスクを減少させるための有効なマイルストーンを設計する。併せて、事業化に必要な資金額を推定し、資金調達条件（バリエーションを含む）や調達先を具体的に検討する。</p>	